

# 議会だより

◆ たちありこい

No.138

平成25年4月26日  
発行／大刀洗町議会

P2

25年度  
予算

82億円でスタート

P8

3月  
定例会

道路改修など追加

P9

町政を  
問う

一般質問 9人が登壇

P19

委員会  
報告

議会基本条例制定に向けて

P20

町民の  
声

さらに子育てしやすい町を

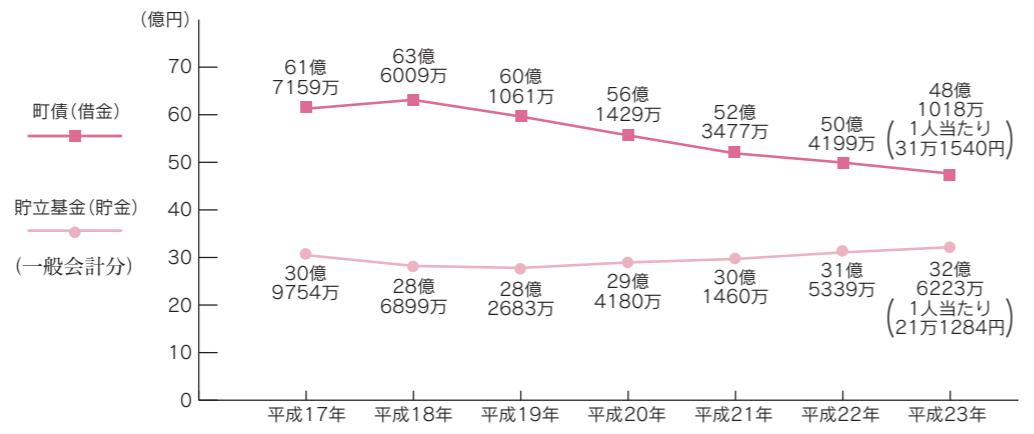
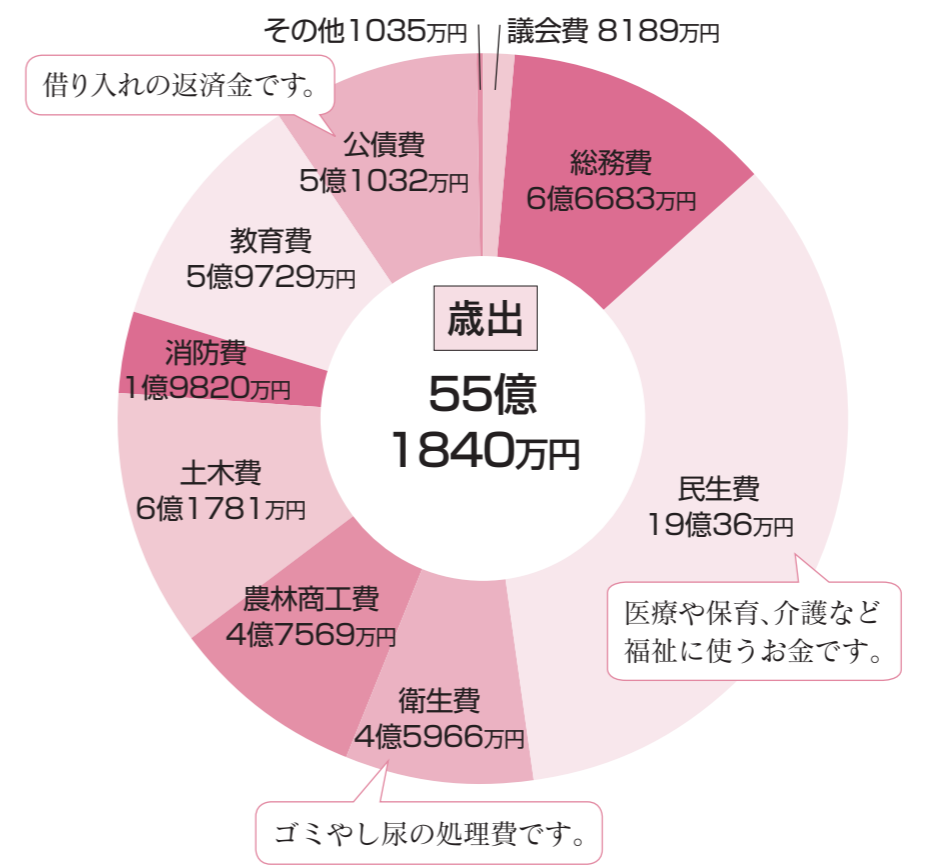
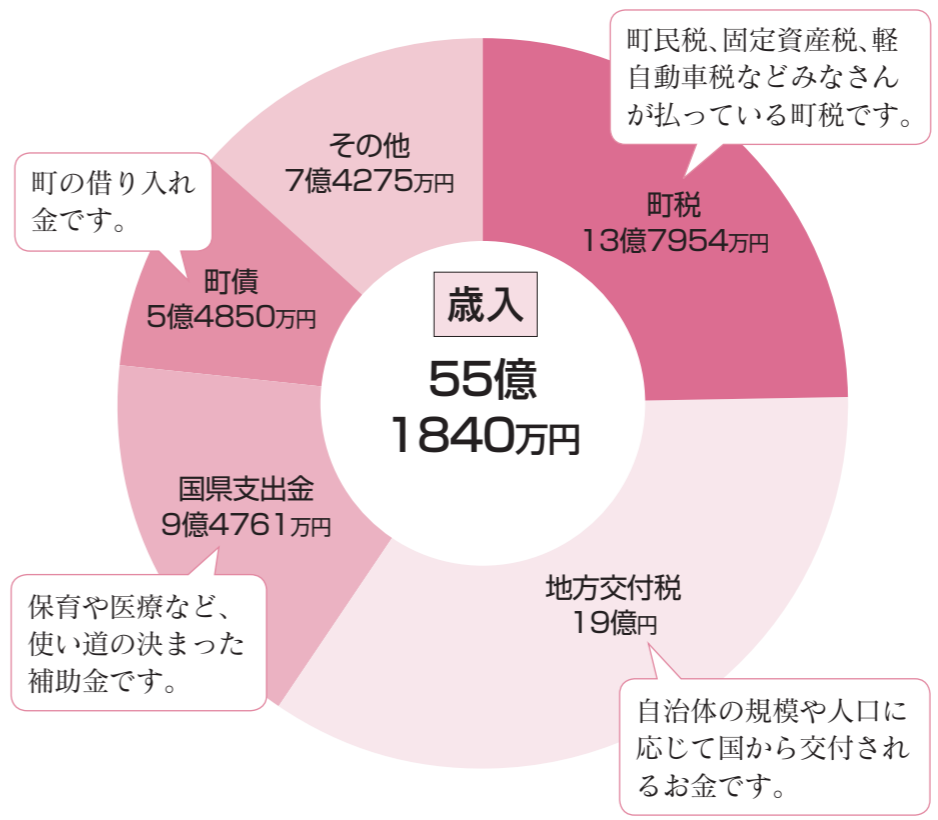
# 25年度 予算

# どう使う？ 82億円

3月議会では、25年度の当初予算を審議し、すべての会計予算が可決された。昨年比約2億円の増となっている。

一般会計 55億1840万円  
特別会計 26億5834万円

## 一般会計 55億1840万円



借入れの額は平成18年をピークに減少傾向です。近年は新規の建設事業も少なく、既存の施設の改修が主となっています。このほかに下水道建設の借入れ(残り60億円)などがありますが、建設工事の借入れは返済時に国から補助金が出ることも多く、いちがいに金額の大小では判断できない仕組みになっています。

## 貯金の内訳と 今後の予定は？

## 貯金と借金の 推移は？

	24年度末見込み	25年度増減見込み	25年度末見込み
財政調整基金	15億4446万	300万	15億4746万
減債基金	5億6300万	100万	5億6400万
公共施設整備基金	1億7962万	△2274万	1億5688万
地域振興基金	2億2600万	0	2億2600万
農業振興積立基金	1億248万	19万	1億267万
水と土保全基金	1001万	0	1001万
下水道施設整備基金	2979万	5万	2984万
消防施設等整備基金	1億85万	19万	1億104万
災害対策基金	3000万	0	3000万
教育施設整備基金	3億4633万	△6703万	2億7930万
土地開発基金	1億9515万	20万	1億9535万
高額医療貸付基金	200万	0	200万
<b>合計</b>	<b>33億2968万</b>	<b>△8514万</b>	<b>32億4455万</b>

町の基金(貯金)は増えています。家庭の普通預金にあたる財政調整基金(特に用途を定めない)のほか、学校や町施設改修のための基金、地域や土地の開発のための基金などがあります。24年度には災害対策基金を新たに創設しました。

(単位：円)

	24年度	25年度	比較
国民健康保険特別会計	18億3608万	17億7619万	△5989万
大刀洗診療所特別会計	1億834万	1020万	△9814万
後期高齢者医療特別会計	1億6634万	1億7213万	579万
土地取得特別会計	422万	420万	△2万
下水道特別会計	6億8309万	6億9561万	1252万
<b>合計</b>	<b>27億9806万</b>	<b>26億5834万</b>	<b>1億3972万</b>

特別会計とは、特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して法令に基づいて設置する会計です。大刀洗診療所会計は、今年度から指定管理者制度(民間業者による管理)を導入したため、会計方法と予算額が大きく変わっています。

## 特別会計とは？ 内容は？

# 25年度の主な事業は？

- 継続** **葬祭場建設 1億 7729 万円**  
かつての灰保管庫を改修し、葬祭場を開設。町が出資する株式会社が管理をおこなう。
- 新規** **橋の長寿命化工事 2400 万円**  
老朽化した橋の設計と工事をおこなう。
- 新規** **通学路対策 600 万円**  
子どもの安全対策として、歩道のカラー舗装など。
- 新規** **健康体操教室 816 万円**  
介護予防の一環として、主に 65 歳以上の方を対象に各校区センターで開催。運動指導士を派遣。
- 新規** **大刀洗診療所の管理を民間へ 700 万円**  
医師の定年退職にともない、管理を民間（医療法人シマダ）へ。契約は 25 年度から 10 年間。
- 継続** **学校給食費へ補助 1400 万円**  
日本一の学校給食を目指し、質の向上と保護者負担の軽減を図る。
- 新規** **小・中学校改修 1億 1568 万円**  
菊池小プール・体育館、大堰小プール・給食室、中学校体育館などの改修を計画
- 継続** **下高橋官衙遺跡整備 950 万円**  
しせきぼん 史跡保存と文化財活用のほか町の観光拠点として整備
- 継続** **農地・水保全活動を支援 1779 万円**  
環境保全のための地域共同の取り組みに対して支援金を交付(5年間)
- 変更** **地域おこし協力隊 480 万円**  
地域づくり活動を支援し、活性化を図る。嘱託職員として2名を採用

## Q&A 予算委員会の 質疑から

### 基金の運用状況は

**議員** 積み立ての総額は30億円ほどで、利率が悪いようだが、どのような運用をしているか。

**課長** 20億円ほどが定期預金で、残りの10億が国債など。国債も長期は金利がよいが、2年ものなどは定期なみである。

**議員** 長期運用の検討は。

**課長** 昨年から一部で長期の10年物を取り入れた。今後も検討したい。

### 住民税・固定資産税の 収入見込みは

**議員** 固定資産税、住民税とも、昨年より収入増を見込んでいるが、その根拠は。

**課長** 一戸建て住宅やアパートの新築で数がわずかながら増加傾向にあること、24年度が評価替えの年であり、評価額が落ち着いたことによる。住民税の増は、16歳未満の扶養控除がなくなったことだが、昨年は少なめに見積もっていたので今年増額となった。

### 借金の推移はどうなる

**議員** 借入れと返済の将来的な見通しは。

**課長** 今後どのような事業をするか分からないが、仮に毎年4億円借入れて、利率2%、20年償還と考えると、毎年の返済額は元利合わせで6億円くらいになる。現在の返済額とあまり変わらない。ピーク時が7億円余りだったので、それよりは減少傾向にある。また、借入れの多くは、返済時に国から交付金を受けることができる。例えば道路・橋梁は約60%、小学校校舎は50%など。

## 支出の部

### 職員の時間外手当 1億28万円

**議員** 多額が計上されているが、具体的な内訳は。残業の管理はどうか。

**課長** 正職員62名分の見込み額で、昨年より200万円減で計上している。時間外勤務にあたっては、時間内に課長に仕事内容の勤務命令簿を出す。残業時間については、翌日総務課がチェックをかけている。

### 庁舎入出管理システム 409万円

**議員** 内容はICカードとその機械の設置費か。

**課長** ひとつはセキュリティの面から庁舎への出入りを管理すること。もうひとつは、現在は出勤簿に押印しているが、ICカードで管理するようになる。

### 災害・非常食購入費 110万円

**議員** 期限切れ食品の処分はどうか。乾パンは高齢者の方には食べにくいのではないか。

**課長** 乾パンや水は賞味期限が5年間で、切れる3ヶ月ほどまえに学校や町のイベントなどで防災啓発と同時に配布を考えている。昨年の災害時、乾パンとカロリーメイトは大変不評だったので、その後はビスケットとスティックパンに切り替えている。



予算委員会は全議員で構成

地域おこし協力隊 480万円

大山ダム負担金 503万円

SNS運用委託 (FB良品) 189万円

青年就農給付金 750万円

**議員** 地域振興の中で、これまでの大刀洗プランチに代わり、新しく計上されているが具体的には。

**課長** これまでの2年間は大刀洗プランチが町の情報発信目的で活動した。

今回は町の嘱託職員としての公募。校区センターを中心に地域づくりの支援、地域と行政をつなぐ役割を担う。これまで地域と役場がうまくつながっていないという指摘を受けており、改善をはかる。



新たに採用された地域おこし協力隊

**議員** 今年から20年以上にわたって負担が発生するとのことだが、水は十分に足りているのに、負担を払う根拠や契約はあるか。

**課長** 過去の水不足のころに始まった事業で、計画の段階で参加表明されていると思う。

**議員** インターネット販売の品種が増えていると思うが、内容と選定の基準は。行政が実施する以上は公平性の確保が必要では。

**課長** 現在は米、しょうゆ、カーネーションなど6品目を出品している。選定基準を設け、推薦や申請があった場合は協議して選定している。説明会を開催する予定はないが、広報で制度を周知する。

シルバー人材センター補助金 879万円

5保育園運営費 4億5679万円

**議員** 昨年の事業仕分けで「要改善」の判定が出ていたが、その後の検討は。

**課長** 会員数に対して補助金が多すぎる、もっと町が関わるべきなどの意見をいただいていた。昨年、単独で運営している大木町に研修に行き、会員数の拡大や生きがい対策の充実など振興策を検討している。

**議員** 保育園の定員に対して入園している子どもの数が多いが、対策は。

**課長** 面積などの基準を満たせば定員を超えてもいいことになっているが、定員の120%以上が2年続くと、見直すように県から指導がくる。定員を増やすと園児1人あたりの補助単価が下がるので判断が難しい状況である。

大刀洗診療所会計 1020万円

下水道会計 6億9561万円

**議員** 新しい管理者である医療法人シマダは、地域の保健指導や予防医学に力を入れる方針と聞く。それは賛成だが、民間として利益を出さなければならぬ中で、保健指導の事業をどう確保してもらうか。

**議員** 下水道料金の滞納はどうか。

**課長** 約300戸で、町税の滞納と重複している方が多い。徴収に努力するが、電気などと違って止めることは難しい。

**町長** 公民館などを使い健康増進の啓発や講演活動に力を入れる。がん検診の受診率を50%まで上げたい。

**議員** 接続世帯の割合は。

**課長** 87%。未接続の方は、管はつないだが家が建っていないとか、独居高齢者でつなぐ資力がいないなどの事情が多い。

**議員** 町職員の看護師はどうなるか。

**課長** シマダへ派遣という形態になる。賃金は管理者が支払う。



薬局へ改修中の宿舍(手前)と診療所

議案に対する各議員の賛否(○…賛成、×…反対)

【3月定例会・1月臨時会】		平田 信将	黒木 徳勝	後藤 晴一	平山 賢治	山田 英敏	林 威範	安丸 眞一郎	花等 順子	平田 一成	森田 勝典	山内 剛	長野 正明
【25年度予算】	一般会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	国保会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	大刀洗診療所会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地取得会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【24年度補正予算】一般会計ほか4会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害対策基金条例 (制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
行政財産使用料条例 (制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふるさと応援寄附条例 (制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下高橋官街遺跡公園の設置・管理に関する条例 (制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
常勤特別職員の給与・旅費条例 (改正)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
財政調整積立基金条例ほか、基金関連4本 (改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大刀洗診療所の設置・管理に関する条例 (改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町営住宅管理条例 (改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道条例 (改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筑前町との下水道排水協定の更新		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保育・教育制度の拡充と豊かな子育て支援制度を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大刀洗診療所・友清医師に対する感謝決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
葬祭場関連 (1月臨時会)	条例改正 (名称変更)	退席	○	○	退席	○	○	○	×	欠席	○	○	○
	管理者の指定	○	○	○	×	○	○	○	×	欠席	○	○	○
	工事契約	退席	○	○	退席	○	○	○	×	欠席	○	○	○

※議長は採決に加わらない。

# 3月議会

## 道路舗装改修を1億円増額

3月の一般会計補正予算では、3億1413万円を追加し、24年度予算の総額を60億9325万円とした。舗装改良工事に1億円追加したほか、公共施設の整備基金に2億円を積み立てている。

### 3月補正での主な追加予算

早期退職者負担金	1410万円
公共施設整備基金積立	1億5042万円
十文字交差点サイン工事	166万円
障害者自立支援費	889万円
保育園運営費	1357万円
乳幼児医療費	100万円
予防接種委託料	421万円
三川農業用排水工事	765万円
舗装改良工事	1億500万円
災害対策基金積立	3000万円
全国瞬時警報システム	2289万円
教育施設整備基金積立	4513万円

### Q&A

#### 質疑から

**議員** 全国瞬時警報システムとはどういうものか。

**課長** 町に入る政府からの警報情報を、防災メール、エリアメール、緊急速報メールなどで携帯各社から自動的に配信するシステムを整備する。財源は国の100%補助である。

**議員** 十文字交差点の工事はいつ終わるのか？

**課長** 車線のみ24年度に終わる。歩道が残るので県と協力して行う。

**議員** 延長保育推進事業が450万減額

となっているか？

**課長** 1つの園で専任保育士の設置をしていなかったため、補助金が減額となった。園の負担となる。

**議員** 複数の自治体で積み立てていた災害共済基金が解散となり、町に1億6千万円あまりが入ってきたが、この収入は災害対策に使われるか。

**課長** 町の災害対策基金を創設し3000万円を積み立てる。そのほか、公共施設整備基金などに乗せする予定。

#### 国保会計

472万7千円を増額し総額を18億5990万5千円とする。

特定健診受診者、約90人分の検査料委託費の増額。

#### 大刀洗診療所会計

98万8千円を増額し、総額を1億932万4千円とする。

3月の代替医師雇用の増額。

#### 後期高齢者医療会計

101万1千円を減額し、総額を1億6859万2千円とする。後期高齢者広域連合への納付金を減額するもの。

#### 下水道会計

957万8千円を減額し、総額を6億9467万円とする。主に執行残による清算。

#### 人権擁護委員

議会より宮崎武久氏(再任)を推薦。任期は平成28年6月30日まで。

# 条例

## ふるさと応援寄附条例制定

町長給与は昨年と同じ削減額に

昨年同様、町長給与を10%削減する。

という形式となる。

寄付とは別の取扱いとなっている。

### ふるさと応援寄附条例

寄付者の意向に対し寄付金が有効に活用されるよう明確化。

### 下高橋官衙遺跡公園条例

短期整備の前半をもって区切りとし、完成後の活用に向けてルールを作る。

### 大刀洗診療所条例改正

医師宿舎を薬局に改修することに対応。

建物は何の所有となるのか？

建物は何の所有で業者が賃借

### 行政財産使用料条例

行政財産の貸付等が可能となったため、基準を明確にする。町有施設での自動販売機、携帯アンテナ、広告などが該当。

## 意見書

保育・教育制度の拡充と、より豊かな子育て支援制度を求める意見書

子ども・子育て関連3法の施行にあたり、子どもの権利保障を柱とする政策の充実や、そのための国の財政措置を要望するもの。

意見書を関係大臣に送付した。(発議者 平山 賢治)

## 大刀洗葬祭場

オープンに向け条例を整備、管理者、工事契約を可決



完成予想図

**名称** 「大刀洗斎場ふるさと」とする。

**運営** 大刀洗町が100%出資する株式会社たちあらい(社長=安丸町長)に管理させる。出資金は900万円、契約期間は5年間。

**工事** 10社の指名競争入札の結果、久留米市の半田建設が1億1340万円で落札。4月末の引渡し、6月の開業を目指している。

(1月の臨時会で可決)

## 決議

大刀洗診療所・友清医師に対する感謝決議

21年間の長きにわたり地域に密着した医療活動に従事し、住民の健康増進に専心努力され、地域医療の維持に貢献された功績に感謝の意を表するもの。(発議者 山田 英敏)

**課長** 平成20年から5年間で7件、約15万円。一般

### 町長の給与

建物は何の所有で業者が賃借

行政財産の使用料条例



安丸真一郎 議員

## 問.住宅用火災警報器の設置率が低いのでは

### 答.100%を目指し普及に取り組む

**議員** 平成18年6月1日施行の改正消防法で住宅用火災警報器の設置が義務付けられたが、設置状況はどうか。

また、火災のみならず、住民の災害に対する意識を高める観点からも町としてどう取り組んだのか。

**町長** 消防署が中心になり、全世帯を戸別訪問して設置促進活動をしている。消防団においては、火災予防週間に合わせて、分団毎に戸別訪問し、平成25年1月末の共同住宅を含む設置率は81%。役場では職員に対し設置状況を調査し、未設置の住宅については早急に設置するように指導した。住宅火災から人命や財産を守る



警報器設置の呼びかけを

**議員** 戸建住宅の校区別設置状況はどうか。

**課長** 大刀洗校区が61.6%、大堰校区が71.7%、菊池校区が63.4%、全体で64.9%。

**議員** 校区別の設置状況も示しながら取り組みないと住民の意識も関心も高まらないと考える。

**議員** 運動公園について、検補修の実施はどうか。

**議員** 公園・グラウンドと駐車場との間に横断歩道の設置については、

**町長** アベノミクスに対しては、世界的なおおむね理解や支持を得ており当然期待は持っている。先月成立した国の15ヶ月予算は、大規模な公共投資が重要施策として掲げられている。機動的な財政施策を積極的に活用するため、国・県からの補助金確保に努力する。本町でも3月補正予算で道路舗装や修繕、用排水施設工事、ま

**議員** 安倍内閣が発した経済政策は、財政出動・金融緩和・成長戦略の「3本の矢」。この中で震災復興・防災体制強化を主にした「機動的な財政出動」について、町長はどのような期待と見解を持っているか。

**議員** 我が町でも放棄された空き家が目立つ対策は。近隣住民にとっては大変迷惑な事態である。対策条例の制定を。また、放棄された家屋の固定資産税などの徴収状況は。

## 問.運動公園の道路に横断歩道を 答.停止ラインなどで対処

**議員** 平成25年度に遊具類の安全点検を予定しており、結果を踏まえて今後の整備補修計画を検討していく。

**議員** また、軽微な修繕補修は状況に応じて対処してきだが、サッカーゴール等の腐食等が著しい大型の備品については更新計画を立てている。

**議員** 公園・グラウンドと駐車場との間に横断歩道の設置については、

**議員** 横断歩道がなく、道路のいたるところからの横断が見受けられているが、横断歩道がないと渡れない状況ではないので、駐車場内に停止ラインを設け、利用者に注意を促す。設置については、今後の状況を見守っていく。

●他に、  
・管理棟、倉庫のグラウンド側への移築について  
・片の瀬橋下流の町民グラウンドの復旧について  
質問を行った。



腐食が進んだゴールポスト

## 町政を問う!

# 一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般について現状や方針を質問し、執行機関の町長や課長が答弁します。議員1人あたりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。

議会だよりに掲載する内容は、質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。質問の全文は、インターネットのほか、議会事務局、各校区センターに議事録を置いてありますのでご覧ください。

※掲載の順番は前後することがあります。

## 問.アベノミクスは期待できるか

### 答.当然期待している

**議員** 安倍内閣が発した経済政策は、財政出動・金融緩和・成長戦略の「3本の矢」。この中で震災復興・防災体制強化を主にした「機動的な財政出動」について、町長はどのような期待と見解を持っているか。

**町長** アベノミクスに対しては、世界的なおおむね理解や支持を得ており当然期待は持っている。先月成立した国の15ヶ月予算は、大規模な公共投資が重要施策として掲げられている。機動的な財政施策を積極的に活用するため、国・県からの補助金確保に努力する。本町でも3月補正予算で道路舗装や修繕、用排水施設工事、ま



森田 勝典 議員

## 問.放棄廃屋の対策は

### 答.条例化など検討

**議員** 我が町でも放棄された空き家が目立つ対策は。近隣住民にとっては大変迷惑な事態である。対策条例の制定を。また、放棄された家屋の固定資産税などの徴収状況は。

**町長** 県内の空き家率は13.7%で本町は6.1%と県下で最も少ないが、数件の大きな廃屋があり、これに対する苦情も出ている。廃屋と言えども個人の財産のため、対策の必要性は感じているが慎重な対応が求められる。

**課長** 固定資産税は、その所有者に課する税である。しかし、本人が死亡の場合は相続人代表者に納税していただく。現在5軒の情報があるが未納はない。



廃屋の対応は全国的な課題

た全国瞬時警報システム自動起動装置導入などを実施する。

また、長年の懸案事項である河川改修・浚渫や、それに関連して主要道路の冠水対策なども考えられる。今回の政策を好機ととらえ、関係省庁に要望活動を強めていく。



後藤 晴一 議員

## 問.生涯学習支援の具体的方策は

### 答.機構改革も含め改善を図る

**教育長** 町民の方々が自己の能力を高めるため、学習機会の充実と情報の提供、健康体力づくりの推進などを行う。地域

**議員** 生涯学習とは、端的にはなにか。



分館での老人クラブ活動(北鵜木)

づくりの一端を担っていると  
思っている。

**議員** 生涯学習を通じた地域づくりとは。

**教育長** 生涯学習課では、持った地域力の再生強化を行い、校区センターを核とした地域づくりを支援している。

地域教育指導員や地域活動指導員が出向いて、支援、指導を行っている。

**議員** 生涯学習を通じて、公民館分館：地域に最も密着した、地域コミュニティ活動の場としての役割を持っており、その管理や運営は、各行政区がおこなっている。

現在のところ、施設整備の支援を行っている。



菊池で開催のコミュニティカフェ

**教育長** 新しい地域づくり、コミュニティづくりとの整合性、方向性を見出すため二時取り下げた取り組みと言っているわけではない。

**町長** 今後、機構改革を含めて、検討しなければならぬと考えている。



山内 剛 議員

## 問.道路改良はどのように

### 答.4億円の工事を地元密着で



道路や土地の改良が待たれる

**議員** 国の24年度補正予算が成立し、本町も町内一円の舗装・修繕

工事を実施する予定であるが、発注時期はいつか。また、地域浮揚のためにも町

**町長** 今回の主な事業は、老朽化した道路の修繕工事で本年度1億1500万円、工期4カ年。町道13路線が対象で総事業費4億円であり、主に町内業者でと考えている。

**課長** 舗装の基準となる土質試験を5月～7月にかけて発注を行い、その後工事を8月から発注するよう努力する。

内業者への発注が重要と思うがどうか。

**議員** 25年度の主要政策から質問する。

①事務の効率化について。職員が25年度は5名減となるが、今後どのくらい人数を減らす予定か。

**町長** 私が就任したときは、正職員が104名いた。できれば80名ぐらいに減らしたいという気持ちがあった。今年度83名まで減るので、これ以上減らしていくのは無理かと考えている。

**議員** ②地域づくりの件。地域の活動が活性化するように支援を強化し、地域協働の推進を図るためには、どういうことがポイントになっていくか。

**議員** ③大刀洗北部の農業基盤整備の件は、今アンケートをとろうかという状況だが、予定する地区内で同意がとれない場合はどうなるか。

**町長** 地域づくりについては、機構改革も含めてもつといろいろ検討していく必要があると思う。

**課長** 今後は、地域づくりの大きな柱である「公助」：行政がやること、それから「自助」：自分たちでやっていただくこと、それから「協」：一緒に取り組むこと、その点を町も整理して、住民と行政が一緒に考えながら進めたいと思う。

**町長** まだ具体化していかないが、同意がとれないところは町が買ってでもと思っているが、大変難しい。



庁舎も改修を予定

## 問.25年度の主要政策は

### 答.効率的な行政を目指す

## 問.地域づくりと

### 生涯学習の連携は

### 答.連携不足解消を目指す

**議員** 町長部局の地域づくり担当と教育委員会の生涯学習との整合性は。

**町長** 企画財政課地域づくり係は、「地域でできることは地域で」ということを趣旨に、地域社会を守り育て、支援していくことを目的に設置した。教育委員会生涯学習課は、公民館分館を中心とした

**議員** 23年度まで主要施策であった「コミュニティづくりの推進」を外した理由は。地域づくりには最も重要と思うが。

**教育長** 新しい地域づくり、コミュニティづくりとの整合性、方向性を見出すため二時取り下げた取り組みと言っているわけではない。

**町長** 今後、機構改革を含めて、検討しなければならぬと考えている。



平田 一成 議員

## 問.学校の荒れをどう克服するか

### 答.指導体制の整備など急ぐ

**議員** 全国どここの学校でも悪ふざけやいじめ、あるいは不登校等、色々な問題が起きているが、大洗町でも、中学校において、一部の生徒に風紀の乱れが指摘されている。対策とスクールガードリーダーの活用は。

**教育長** まず、一部生徒の実態だが、問題行動を起こしている生徒は数名と把握している。その内容だが、二期期末より校内での授業等の妨害、教師への反抗、喫煙、学校外での窃盗となっており、一部は警察に補導された事案もあった。近隣の中学生や町内青年との関係もあって、風紀が乱れていると認識している。

以下4つの対策で取り組む。

①学校内で生徒指導委員会、学年会、職員会を随時開催し、学校の指導体制を整える。

②職員による家庭訪問や施設訪問を通じ、学習指導や生徒指導を行う。

③関係機関との連携。教育委員会では学校、施設等との協議を重ね、共通理解を図り、教育委員会が主導し、児童相談所、警察、他の中学校との連携を強化し、対応してきた。

④教育委員会による学校への支援。個別の事案に対し、そのつど、指導主事を学校に派遣し、教職員の相談を受けるとともに、生徒指導の具体的な指導助言を行い、問題解決に当たってきた。

来年度からスクールガードリーダーとして警察OBを配置するとともに、文部科学省の指定を受け、中学校へコミュニティスクールを導入し、町負担の常勤講師、



中学校入学式

(※1)スクールガードリーダー…地域学校安全指導員。子どもの安全を守るために、通学路の巡回活動や、不審者対応について学校へのアドバイスなどをおこなう。主に警察OBや教員OBを採用。

(※2)コミュニティスクール…学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。

(※3)ユニバーサルデザイン…「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるように設計構築すること。



林 威範 議員

## 問.中学校の学力低下対策は

### 答.向上のための授業、特別講座を計画



豊かで実りある教育を

**議員** いじめ、不登校、体罰などの、児童、生徒を取り巻く報道が絶えない。町での現状の把握と対策は。

**教育長** いじめ、不登校調査は毎月実施している。いじめについては本年度小学校3件、中学校3件報告があったが、い

小学校では県平均以上だった学力が中学校に入ると県平均以下になっている。中学校での学力低下対策は。

**教育長** 学力向上のため、ユニバーサルデザイン(※3)の授業構築、学習塾講師による特別

も解消している。不登校は、小学校で2名、中学校で9名継続指導中である。中学校においての不登校は27名(平成22年、20名(23年))と減少傾向にある。体罰については調査中で、4月に報告がまとまる。

25年度は、中学校にスクールガードリーダー(※1)を配置し、さらに地域とともに協働する学校づくりを目指すためのコミュニティスクール(※2)の研究を行う。



施設の計画的な改修が必要

**議員** 公共施設の有効活用、業務効率化に経営的視点を取り込み、対応している自治体が増えている。施設の管理運用などのランニングコストについて、今後どのように計画

しているのか。

**町長** これまでの施設運営維持は単年度毎の予算消化だったが、これからは施設の有効活用、コスト削減を考えていく必要がある。現時点では、耐震化や大規模改修などを除けば、事業の推進を優先せざるを得ず、施設の保全面では不具合の発見に合わせた事後対応が多い。今後は予防保全に向けた体制の見直しを考えていく必要がある。

**町長** 改修を怠った結果、余計に費用がかかることがある。大規模なものは補助金がないとやりにくいですが、軽微なものには補助金がなくとも計画的にやっていく必要はない。

**議員** 補助金頼みの改修ではなく、保全のための費用も蓄えていくべきでは？

**町長** 果、余計に費用がかかることがある。大規模なものは補助金がないとやりにくいですが、軽微なものには補助金がなくとも計画的にやっていく必要はない。

## 問.業務効率化の経営的視点は

### 答.計画的な体制を構築

講座の実施などを計画している。

町内の生徒は人間関係を自ら築く力、学ぶ意欲を推進、学校と家庭との連

携した取り組み、夢や希望を持つ講演会などを計画している。

携した取り組み、夢や希望を持つ講演会などを計画している。





平山 賢治 議員

## 問.震災や原発避難者の受け入れ整備を

### 答.県の制度も活かしながら検討

**議員** 東日本大震災は死者1万5000人の大災害となり、現在も31万人の方が避難生活を強いられている。出口の見えない閉塞感の中で、現地で病気や事件が増加傾向など痛ましい状況である。



復興への道は険しい(4月、南三陸町)

西日本地域や九州への避難者も増えている。当町内の避難者の把握と支援の状況はどうか。福島に限らず、近隣からの自主避難の把握は。

**町長** 町内では福島県いわき市から転入された男性が1名。昨年はいまもう1名いた。

転入届を受け付ける際に、罹災証明の有無や本人聞き取りなどを実施している。具体的支援としては、町営住宅の提供や民間住

**町長** そういうケースが増えれば国県とも連携しながら検討したい。

宅借り上げ補助、保険証がない場合の減免、高齢者の場合の相談、児童は就学の確保などに努める。

**議員** 原発事故は全く収束の見通しが立っていないし、今後健康被害が明らかになってくれば、避難や移住を考える方も増えてくるのではないかと。福岡県は避難候補地として最も可能性の高い地域であるし、5年10年の長い目で被災者受け入れを整備すべきでは。大木町が実施している保育料、水道料ごみ容器代減免や農地を捨てて避難して来た方の就農援助などは。



園児が増えにぎやかな入園式

**議員** 無料化により、夜間受診が減ったり健康増進など効果は大きい。未来への投資を。

**議員** 町内保育園の定員と入所者数はどうか。保育士不足が深刻だが町で待遇改善や就職支援などを打ち出すべきでは。また、全国的にも県内でも小・中学生の医療費無料化が進められているが本町は実施していない。今後の取り組みは。

**町長** 定員は5園合計で435名、入所児は534名で123倍の入所状況。待機児童はいない。施設の面積には余裕があるので、今後も受け入れは可能と見込んでいる。保育士の確保は国・県も力を入れているし、民間施設なので自助努力でお願いしたい。小・中学生の医療費は、県内でも無料化を拡大の傾向にある。小学校入学前の窓口負担は、無料化を前向きに検討したい。

## 問.子どもの医療費無料化は

### 答.できるところから措置

## 問.自治基本条例の制定を

### 答.選挙公約や総合計画で推進



地域での議論が進んでいる

**議員** 自治基本条例とは、まちづくり条例であり、町の憲法と言ふべきもの。本町において地域づくりが始まって3年が過ぎ、各校区において、地域づくりが議論され、組織化も

進んでいる。また、若者や町外者を取り込む活動も盛んになり、町は活性化してきた。今こそ、行政と住民が情報を共有し、官と民との協働を進めるためにも自治基本条例を策定すべきと考えるが。

**町長** 自治基本条例は、自治体における最高規範である。主に、自治体運営の目標理念、自治体運営の基本原則、住民の権利と義務、議会の

責務、町長の責務、町の責務、職員の責務、情報公開、住民参加の手続、町民協働の仕組み、地域コミュニティの定義などで構成される。今後の町の運営について重要な条例である。町や町民、議会、職員などの協力や策定に対する機運の盛り上がりが必要だと思う。現状は、まだその時期ではないと思う。地域の意見を聞きながら地域づくりを推進し、住民自治を図っていく。

**議員** 地域づくりがなかなか軌道に乗れずにいる。この条例づくりが起爆剤になり、地域づくりが進むのではないかと。

**町長** 全国1900自治体中260自治体で制定しているにすぎない。この条例がないとまちづくりができないことはない。まちづくりの最上位は町長の選挙公約であり、次が総合計画である。



他自治体のバスを調査(宮崎県三股町)

**議員** 大堰・本郷・大刀洗校区の地域づくりにおいてコミュニティバス(校区巡回バス)に関するアンケートが実施された。これからさまざまな議論がされていくことだろうが、運行形態は校区まかせでよいのか。住民サービスに格差が生じないか。

**町長** コミュニティバスの必要性を町が決めるのではなく、地域で十分検討してほしい。行政主導では運行しない。

**町長** アンケートの結果が出て、もう少し話が具体的に協賛すればよいと考える。今の時点では、車や燃料の負担をどのようにするか決めていない。町としては当然助成する必要があると思う。

## 問.コミュニティバスの運行形態は

### 答.要望を踏まえ協議

**議員** バス運行に関して町から何の確約も得ていない。このような状態では事業が詰められないが。

# 議会改革への取り組み

～議会基本条例を策定中です～

「議会がどんな活動をしているのかよく分からない」「議員の姿が見えない」というお叱りの声をよくいただきます。

議会としても、足りなかった部分を率直に反省し、住民の皆さんに説明責任を果たせるような議会へ向け一丸となって改革を進めていきます。

その第一歩として、一昨年から議会報告会を開催するとともに、今年度は、議会の責務を明記した「議会基本条例」の制定を目指しています。



住民参加で条例づくりをめざします

## 条例制定までの流れ（予定）

- 2月 全国で最初に議会基本条例を制した北海道栗山町の中尾議会議務局長（元）を招いて研修
- ↓
- 3月 基本条例素案策定委員を公募。各校区から合わせて4名を委嘱
- ↓
- 4～6月 条例の素案を検討
- ↓
- 7月 素案の公聴会を開催
- ↓
- 8～9月 条例案を作成
- ↓
- 10月 パブリックコメント（住民からの意見募集）を実施
- ↓
- 12月 議会へ上程



あさぎり町で意見交換

・紙面に住民が登場しているか  
 ・専門用語を排し、住民目線で審議を報告できているか  
 ・議会の審議や議会活動が適切に企画され、透明度の高い広報誌になっているか  
 ・専用用語を排し、住民目線で審議を報告できているか

また、2月には熊本県議会広報コンクール優秀賞のあさぎり町、錦町で研修をおこなった。

## 委員会報告

議会をありのままに伝える広報活動  
 ～広報委員会～

1月、福岡県町村議長会が主催する広報研修会に参加。県下の多数の町村議会と市議会も参加し、広報活動の改善のため学習を深めた。特に留意すべき点として

・議会の審議や議会活動が適切に企画され、透明度の高い広報誌になっているか  
 ・専用用語を排し、住民目線で審議を報告できているか

また、2月には熊本県議会広報コンクール優秀賞のあさぎり町、錦町で研修をおこなった。

大刀洗町議会でも、迅速化に取り組みとともに、前号より紙面を大幅リニューアルして読みやすい広報づくりに取り組んでいる。今後も住民の皆さんからの意見に耳を傾けながら、さらなる改善に努めたい。

## 問.農業への物的・人的支援を

答.基盤整備や国の補助制度を活用



地域農業の活性化を



政府はTPP交渉参加へ

**議員** J A みの出荷額を調査したところ、23年度の大刀洗町の農産物販売実績は北野町の約3割に過ぎない。米・麦はあまり変わらないが、野菜・花卉の売り上げは北野

町43億2400万円、大刀洗は5億9600万円と北野の7分の1に留まっている。原因を分析すると、北野はハウスで通年栽培しているの、年間3～4回の収穫ができるが、大刀洗は露地栽培が多いため収穫回数が少ない。収穫回数を上げれば収入は増え、就農する意欲が増すと思うが、大刀洗では野菜のハウス栽培は6人ほどである。大刀洗の農業生産高は

年々減少し、農業人口も減っているのが現実である。その中で食糧を安定的に供給することは、国民生活に直接影響し、食糧の自給率アップのため、種々の施策が実行され、経営の安定対策など農家の所得増に貢献している。国は昨年から新規就農者に対し、支援事業として年間150万円を支給している。国・県が補助する事業は機械化の初期投資である。すでに機械化してい



山田 英敏 議員

## 町長

北野町との販売高の差は、土壌条件からくる営農形態の違いや、出荷販売ルートの違いによる。今後の農業振興を図る施策として、本町北部の土地基盤を整備し、農業生産に適した土壌を確保することを考えている。農地の規模拡大を図る農家への対応として、国の施策である「人・農地問題解決推進事業」を活用したい。また、土地利用型農業から所得率の高い施設園芸農業への転換を促したい。

これからの農業経営の改善については、農業改良普及センターやJ A みたいと連携をとり、効率的に推進したい。野菜・花卉農家への既存農家の大きな経費は、手作業の人工費であり、これに対しての助成をすることにより、野菜・花卉を生産する農家も増え、規模拡大の可能性がふえる。助成することに対し町長の見解は。

## 議員

不十分だが町長の農業に対する支援の意欲は理解できた。農業は多面的機能により本町の緑多い田園風景を維持しており、農業を継続してやれるような環境を守ることは行政の責務でもあると考える。政府はTPP交渉参加も表明し、農業はますます厳しい環境となるが予測される。農業に対して、出来る限りの支援をお願いしたい。また、農業者の自努力が必要であることは言うまでもない。

◎他に葬祭場の進捗状況について質問した。

# 町民の「声」

## 子育て

### しやすい町へ



鳥飼  
堀江 ちささん

ここ大刀洗に引っ越してきたのは12年前。2人の男の子はまだ2歳と0歳でした。4LDKの我が家は半分使われることなく、ガランとしていました。ふと気が付けば女の子が3人生まれ、子供は5人に。今では、「子供部屋どうする?」と夫婦で考え込むほど我が家は賑やかになっています。

子育ては現在、大刀洗町の保育園、小・中学校にそれぞれお世話になっています。

毎日忙しい日々を過ごしていますが、それでも安心して子育てできています。

「こんなに子供達が少なくて友達ができるのだろうか?」と心配もしました。しかし、そんな親の心配をよそに、子供達はたくさんさんの友達を作り、今では大刀洗にどっぷり浸かっているようです。

「こんな子育ては、最初は引越してきた当初は、と出費も多くなります。そこで、私が町にお願いしたいのは、中学生以下のインフルエンザ予防接種と医療費の無料化です。子育てしやすい環境を整えることで、それを武器に大刀洗町の子育て世代の人口を増やすことができるのではないのでしょうか?是非、実現させて頂きたいと思っています。

「まあ、先は長いですが、「明るく・楽しく」をモットーにこの自然豊かな大刀洗で子育てを楽しみたいと思います。」

とはいえ、子供が多い

## 議事を傍聴しませんか



6月議会  
6月12日開会

一般質問は  
**6月16日(日)**  
(いずれも予定です)

どなたでも自由に傍聴できます。

お問い合わせ  
☎77-4112(議会事務局)

3月議会の傍聴は16名でした。

大刀洗町議会ホームページ

<http://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/gikai/>

### 編集後記

新年度予算を審議する3月議会は緊張感が漂います。町長の説明にも一段と熱がこもります。一般質問にも9名の議員が立ちました。このことを迅速に町民の皆様にお伝えするため、広報担当三丸となつて編集に取り組みました。ご意見お寄せいただければ幸いです。

今年、桜の開花が10日ほど早くなりました。皆様のお手元に、本号が届くころは、新緑に満ち、青々とした麦畑に、大刀洗の鳥「ひばり」が空高く舞っていることでしょう。(後藤)



【表紙の写真】4月10日、大刀洗小学校の入学式です。期待と緊張が交錯?

議長	委員	委員	委員	副委員長	委員	委員	委員	議長
長野	後藤	平田	森田	林	平山	賢治	威範	勝典
正明	晴一	信将	典	範	治	治	典	典